



TITLE:

[アウトリーチ]見学・実習など

AUTHOR(S):

---

CITATION:

[アウトリーチ]見学・実習など. 京都大学大学院理学研究科附属天文台  
年次報告 2014, 2012年(平成24年): 49-53

ISSUE DATE:

2014-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196594>

RIGHT:

## 9 アウトリーチ

### 9.1 見学・実習など

#### 9.1.1 飛騨天文台

(小中学生)

1. 本郷小学校 (6月24日) 親子 31 名
2. 韓国中学生 修学旅行 (7月27日) 32 名
3. 飛騨アカデミー 2012 夏セミナー (8月4日) 約 40 名
4. 北稜中学校 職場体験 (8月4日,6日-8日) 1 名
5. NPO 法人花山星空ネットワーク 子供自然体験教室 (8月6日-7日) 約 30 名
6. 高山市教育委員会サイエンスパートナーシッププログラム (8月24日) 6 名

(高校生)

1. 静岡北高校 (4月25日) 30 名
2. 浦和西高校 観測実習 (7月30日-8月2日) 計 5 名
3. 刈谷高校ほか (8月6日) 20 名
4. 恵那高校 (8月9日) 33 名
5. 大阪 豊中高校 (9月10日、11日) 計約 50 名

(大学生)

1. 茨城大学 観測実習 (4月23日-27日) 9 名 (学生 7 名、TA1 名、教員 1 名)
2. 東大 地球惑星物理学観測実習 (7月24日-27日) 5 名 (学生 3 名、TA1 名、教員 1 名)
3. 太陽研究最前線体験ツアー (8月27日-29日) 11 名 (学生 10 名、TA1 名)
4. 明星大学 観測実習 (7月29日-8月3日) 3 名 (学生 2 名、教員 1 名)
5. 京大 全学共通科目 天体観測実習 (9月24日-28日) 12 名 (学生 9 名、TA3 名)
6. 京大 ポケットゼミ「太陽の活動を観てみよう」(8月11日-13日) 11 名
7. 京大 ポケットゼミ「活動する宇宙」(8月19日-21日) 6 名
8. 京大 課題演習 C4 (11月16日-19日) 5 名

(一般)

1. 一般公開 (8月4日) 約 140 名
  2. 北陸電力 (9月14日) 約 5 名
  3. NHK、放送大学ロケ (9月23日) 6 名
  4. NPO 法人花山星空ネットワーク 自然再発見ツアー (10月7日-8日) 約 25 名
  5. 放送大学 面接授業 (10月20日-21日) 28 名 (受講生 23 名)
  6. 日本ヒューレットパッカート社 (11月18日) 5 名
  7. NHK(BS コズミックフロント) ロケ (1月29日-30日) 3 名
- 計 26 件 (約 550 名)

#### 9.1.2 花山天文台

(幼稚園、小中学生)

1. 京都 東山幼稚園 (10月19日) 約 70 名

2. 京都市青少年科学センター (7月30日) 約20名
3. 京都府教育委員会 福島県被災地小学生招待企画 (8月7日) 約70名
4. 京大 ジュニアキャンパス (9月23日) 30名 (中学生23名、保護者7名)
5. 羽衣学園 (10月26日) 49名
6. 京都 洛北高校附属中学 (11月6日) 約80名
7. 京都 橘中学 (11月8日) 約80名  
(高校生)
1. 滋賀 米原高校 (4月28日、7月29日、9月9日、12月24日) 各7名程度
2. 京大 オープンキャンパス (8月10日) 11名
3. 京都 洛東高校 (8月16日-20日) 約10名
4. 滋賀 彦根東高校 (8月24日) 5名
5. ELCAS 宇宙地球分野 観望会 (9月1日) 太陽観測実習 (9月15日、10月20日) 8名
6. 京都 花園高校 (10月27日) 約50名
7. 兵庫 加古川東高校 (1月13日) 4名
8. 比叡山高校見学 (3月15日) 38名  
(大学生、大学院生)
1. 京大 宇宙物理新 M1 ガイダンス (4月26日) 2名 (M1:1名, 新PD:1名)
2. 京大 ポケットゼミ 「活動する宇宙」 (5月23日) 「活動する宇宙」 6名
3. 京大 ポケットゼミ 「太陽の活動を観てみよう」 (6月6日) 10名
4. 京大 ポケットゼミ 「宇宙観測 400年の歴史」 (7月17日) 4名
5. 京都経済短期大学 (8月22日) 約30名
6. 京都府立大実習 (1月17日) 約20名
7. 愛媛大学実習 (2月25日-27日) 12名  
(一般 大人&子供)
1. NPO 法人花山星空ネットワーク観望会 (4月22日、6月6日、7月28日、8月18日、  
9月29日、11月3日、3月16日) 各約100名
2. 七夕講演会 (7月7日) 約10名
3. 一般公開 (10月27日) 約340名  
(一般 大人)
1. リバネス中高教員研修 (4月15日) 約25名
2. 放送大学 面接授業 (5月12日-5月13日) 約20名
3. 京都千年天文学街道 花山コース (4月15日、6月16日、6月30日、9月16日、  
10月8日、11月10日、12月1日) のべ65名
4. 名古屋市高年大学 天文気象クラブ (7月3日) 34名
5. 京都府教員 (7月25日) 約30名
6. 協豊会 (11月15日) 15名
7. 都草 (11月21日) 18名
8. 京都府議会議員団 (11月28日) 9名

計45件 (約1880名)

### 9.1.3 天文台外でのイベント

1. 京大日食展@博物館 (4月25日-5月20日)  
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/modules/special/content0027.html>
2. 金環日食観察会&講演会 (5月21日)  
<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/education/kinkan/>  
<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/proj/eclipse2012/>
3. NPO 法人花山星空ネットワーク講演会 (6月4日、12月8日)  
<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/hosizora/kouenkai/kouenkai9.html>  
<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/hosizora/kouenkai/kouenkai10.html>
4. 大和郡山市イベント「古事記と宇宙」(11月23日-24日)  
<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/usss/kojiki/index.html>
5. 宇宙落語会 (12月16日)  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news\\_data/h/h1/news4/2012/121216\\_3.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news4/2012/121216_3.htm)
6. 京都千年天文学街道ツアー  
<http://www.tenmon.org/>

### 9.1.4 金環日食観察会および金環日食講演会(2012年5月21日)

金環日食の日には附属天文台と総合博物館が主催で、観察会(京大農学部グラウンド)と講演会(京大百周年記念ホール)を開催しました。以下は京大理学研究科による報告  
<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/proj/eclipse2012/> の抜粋です。

5月21日午前6時30分より、京都大学農学部グラウンドにて金環日食観察会を開催しました。当日は、晴天に恵まれ絶好の観察日和となり、約8,000人という多数の方が集まりました。予想以上の出足に、あっという間に日食メガネは売り切れとなりましたが、ソーラープロジェクターやピンホール、望遠鏡などを用いてご覧になられたり、お互いに日食メガネを貸し合っていました。日食が始まり、徐々に食が大きくなるに連れて、気温が下がっていくことも体感できました。そして金環日食になった時、「オー!」という歓声が湧き上がり、会場が興奮に包まれました。





観察会に引き続き、午前9時半より、京都大学百周年記念ホールにて金環日食講演会を開催しました。こちらも定員500名に対して立ち見ができるほどの盛況で、大変多くの方にご参加頂きました。講演会では喜多郎さんの生演奏や、宇宙の美しい映像をご覧いただきました。飛騨天文台との遠隔講演なども行われました。

#### 天文台長・柴田教授より

観察会は8000人もの方が来られました。予想の10倍以上で驚きました。しかし、大きな混乱もなく、みなさん楽しんでいただけたようで、大変幸いでした。私自身も大いに楽しみました。思ったより、あたりが暗くなったとか、手鏡を初めて使ったとか、ピンホールカメラの孔と投影板の距離をいろいろ変えると太陽像の大きさがいろいろ変って楽しいとか、新しい発見がありました。

講演会も満員(500人定員+立ち見)で驚きました。喜多郎さんの生演奏は感動的でした。また、「古事記(喜多郎さん作曲の音楽)と宇宙映像の融合」という試みも喜多郎さんの素晴らしい楽曲のおかげで、何とか無事終えることができてほっとしています。飛騨との中継は非常にうまくいったと思います。理学研究科情報技術室、KUINS(京都大学情報環境機構)のご協力のおかげだと思います。

今回、院生学生をはじめとする多くのみなさんが手伝ってくださいました。この場を借りて深くお礼申し上げます。



